

物流動向に関する実態調査(9・10月実績、11月見通し) 速報版

平成26年12月 1日



公益社団法人

全日本トラック協会

Japan Trucking Association



目 次

1. 輸送量の動向について	2
2. 車両の稼働の動向について	3
3. 車両の確保状況について	4
4. 輸送量の増加や車両稼働率の上昇等により運送依頼を断った実績について	5
5. ドライバーの不足感について	6
6. ドライバーが不足している輸送品・地域、時期について	7
7. ドライバー不足による問題と採用にあたっての取組みについて	8
8. 運賃動向について	9

調査時期：平成26年11月10日～11月25日回答分までを集計

回収数：352サンプル

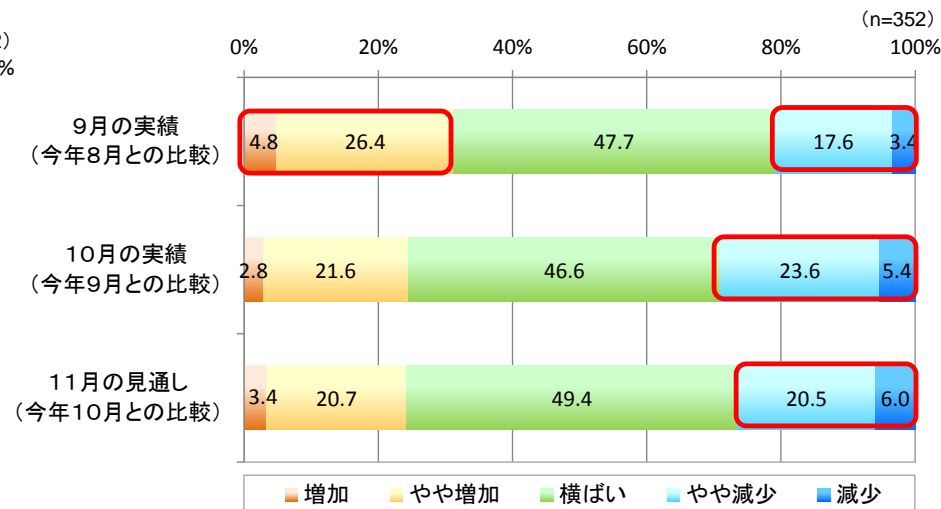
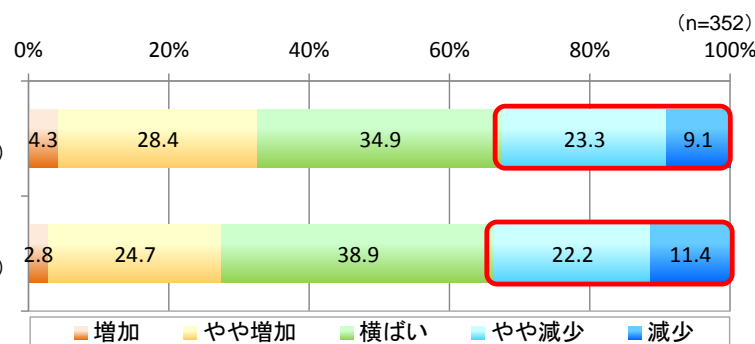
※本調査は、アンケート調査画面にアクセスできるウェブサイトのアドレスを電子メールおよび郵送にて送付し、調査画面にアクセスすることにより回答する方法で調査を実施した。

1. 輸送量の動向について

- 輸送量の動向について、「昨年9月と比較した今年9月の実績」は「減少」「やや減少」とした事業者が32.4%、「昨年10月と比較した今年10月の実績」は「減少」「やや減少」とした事業者が33.6%であった。
- 「前月と比較した9月の実績」は「減少」「やや減少」とした事業者が21.0%であり、「前月と比較した10月の実績」では「減少」「やや減少」とした事業者が29.0%であった。
- 「今年10月と比較した11月の見通し」は「減少」「やや減少」とした事業者が26.5%であり、49.4%の事業者が「横ばい」と回答している。
- 「前月と比較した9月の実績」では「増加」「やや増加」とする回答が「減少」「やや減少」とする回答を上回っているが、10月の実績及び11月見通しでは「減少」「やや減少」とする回答が増える傾向にあり、輸送量の増加は一時的なものと思われる。

輸送量の動向(前年同月比の9・10月実績)

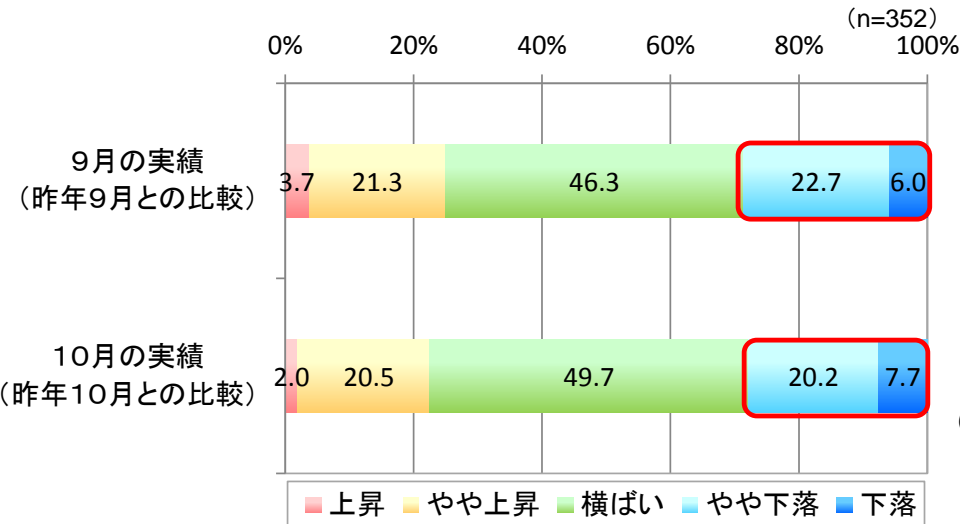
輸送量の動向(前月比の9・10月実績及び11月見通し)



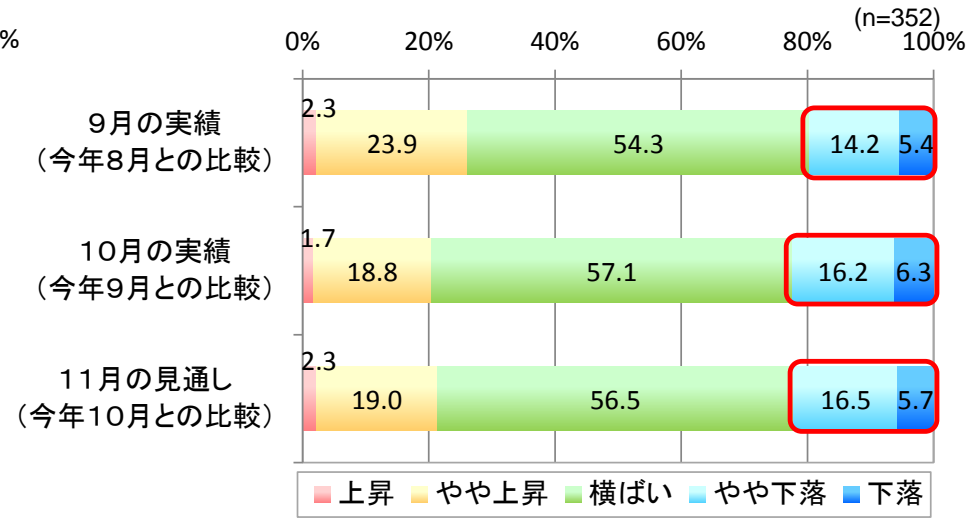
2. 車両の稼働の動向について

- 車両の稼働の動向は、「昨年9月と比較した今年9月の実績」は「下落」「やや下落」とした事業者が28.7%、「昨年10月と比較した今年10月の実績」は「下落」「やや下落」とした事業者は27.9%である。前年同月と比較すると車両の稼働動向は下落傾向にあることが示されている。
- 「前月と比較した9月の実績」は「下落」「やや下落」とした事業者が19.6%、「前月と比較した10月の実績」は「下落」「やや下落」とした事業者が22.5%である。また、「前月と比較した11月の見通し」は「下落」「やや下落」とした事業者が22.2%であり、9月と比べると、10月以降は車両の稼働動向が下落傾向にあることが示されている。

車両の稼働の動向(前年同月比の9・10月実績)



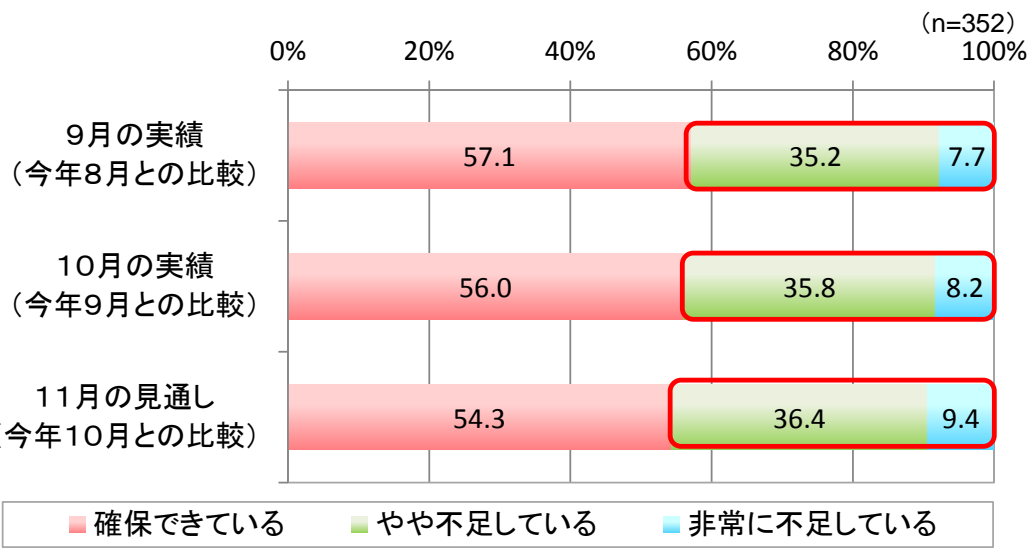
車両の稼働の動向(前月比の9・10月実績及び11月見通し)



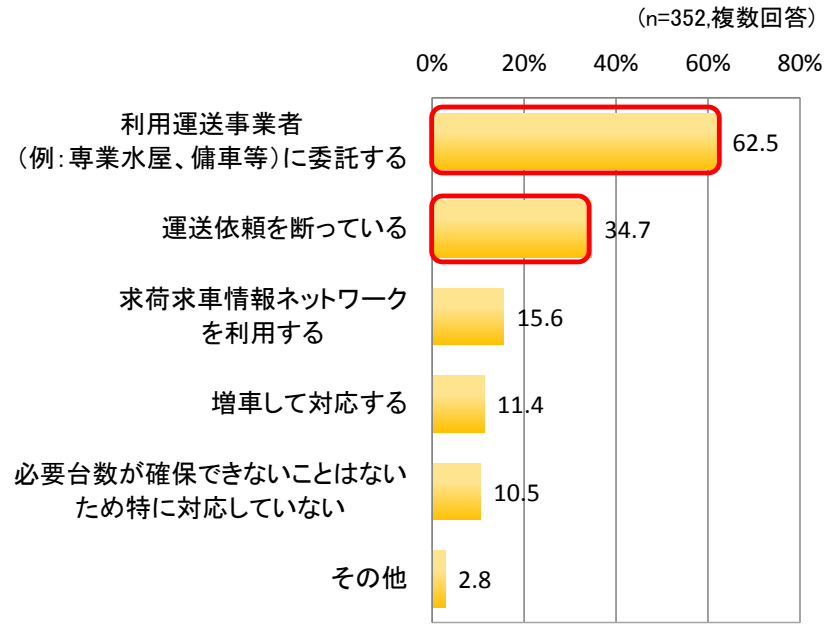
3. 車両の確保状況について

- 「前月と比較した9月の実績」は「非常に不足している」「やや不足している」とした事業者が42.9%、「前月と比較した10月の実績」は「非常に不足している」「やや不足している」とした事業者が44.0%である。
- 「前月と比較した今年11月の見通し」は、車両が不足するとした事業者が45.8%であり、車両不足の傾向が続く見通しが示されている。
- 車両を確保できない場合の対応としては、「利用運送事業者に委託する」「運送依頼を断っている」が上位であった。

車両の確保の状況(9・10月実績及び11月見通し)



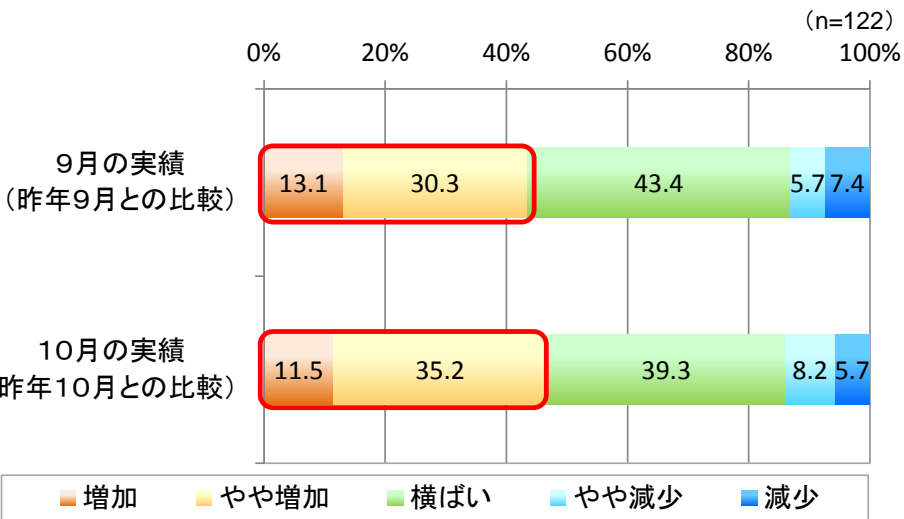
必要台数確保のための対応



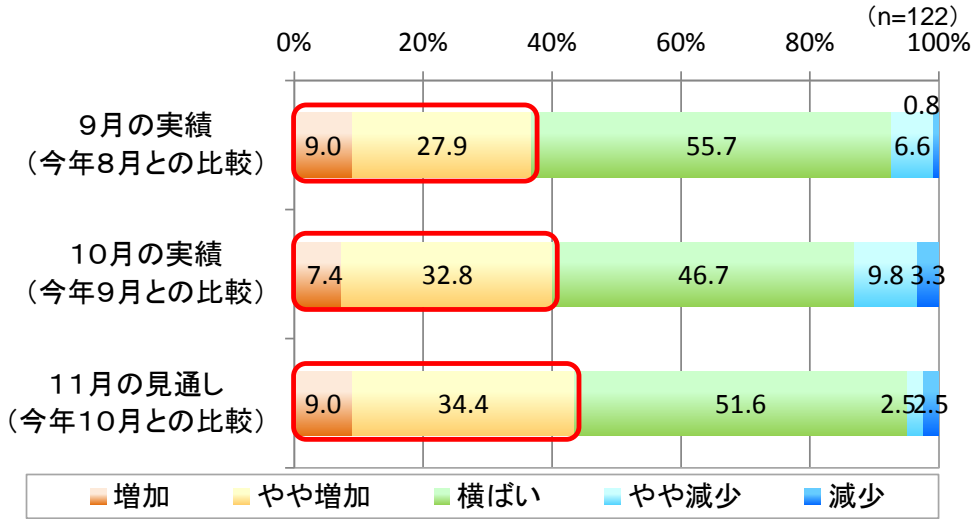
4. 輸送量の増加や車両稼働率の上昇等により運送依頼を断った実績について

- 「昨年9月と比較した今年9月の実績」は「増加」「やや増加」とした事業者が43.4%、「昨年10月と比較した今年10月の実績」は、「増加」「やや増加」とした事業者が約46.7%であった。
- 「前月と比較した9月の実績」は、「増加」「やや増加」とした事業者が36.9%、「前月と比較した10月の実績」は、「増加」「やや増加」とした事業者が40.2%と増加傾向にあり、「前月と比較した11月の見通し」は、「増加」「やや増加」とした事業者が43.4%となり、運送依頼を断る件数が増える見通しが示されている。

運送依頼を断った件数(前年同月比9・10月実績)



運送依頼を断った件数(前月比9・10月実績及び11月見通し)

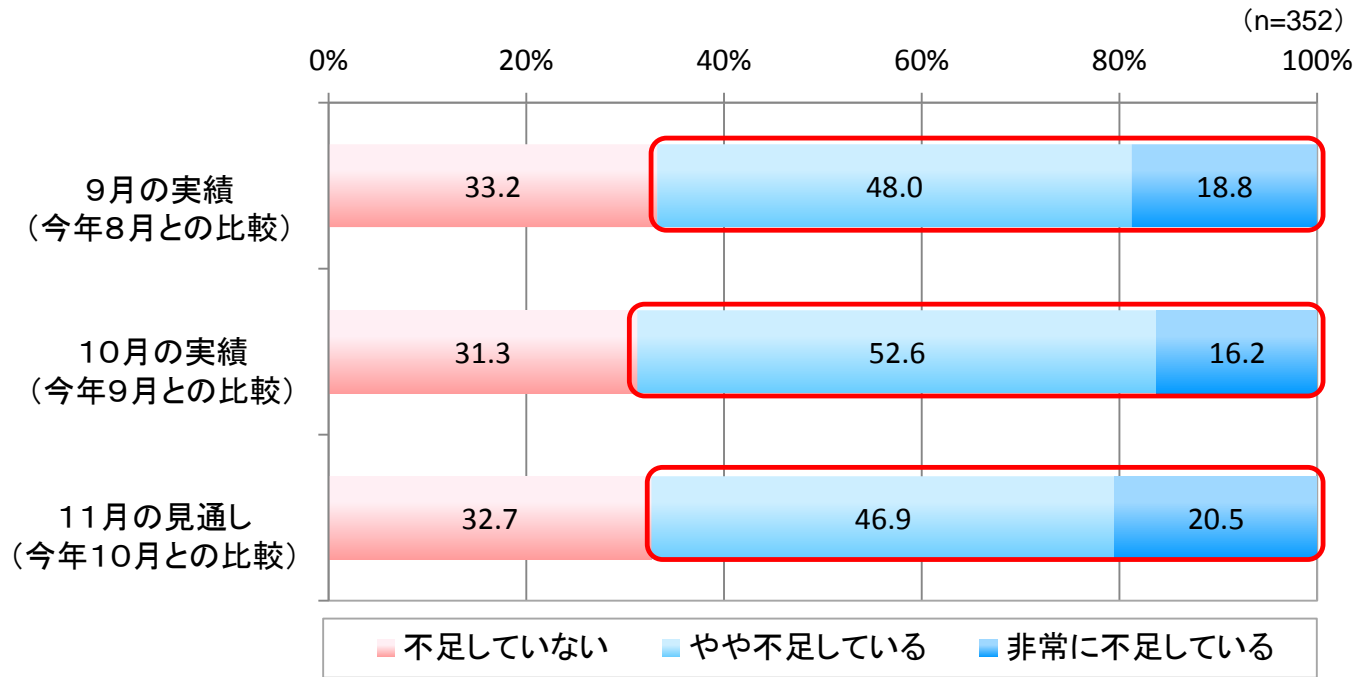


※4ページ「車両を確保できない場合の対応」において「運送依頼を断っている」と回答した事業者に対する質問

5. ドライバーの不足感について

- 「前月と比較した9月の実績」は「非常に不足している」「やや不足している」とした事業者が66.8%、「前月と比較した10月の実績」は「非常に不足している」「やや不足している」とした事業者が68.8%である。
- 「前月と比較した11月の見通し」は、「非常に不足している」「やや不足している」とした事業者が67.4%であり、依然として、ドライバー不足の傾向が続く見通しが示されている。

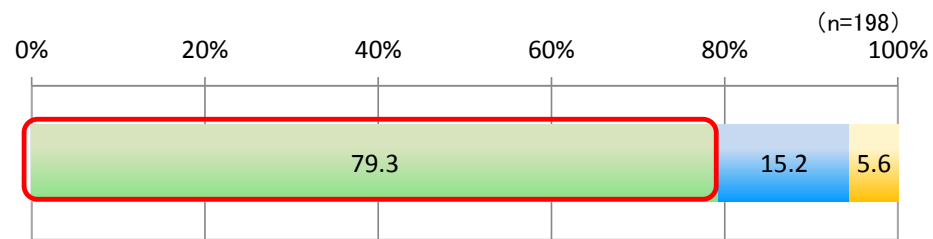
ドライバー確保の状況(9・10月実績及び11月見通し)



6. ドライバーが不足している輸送品・地域、時期について

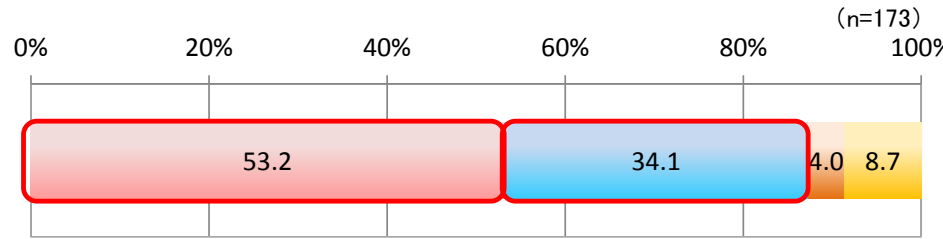
- 「ドライバーが不足している輸送品・地域」は、「特定の輸送品、地域を問わず、ドライバー不足となっている」とした事業者が79.3%である。
- 「ドライバーが不足している時期」は、「年間を通してドライバー・車両不足」とした事業者が53.2%と上位であるが、「繁忙時期のみ不足」とした事業者も34.1%となっており、繁忙期のみ不足している事業者もいることが示されている。

ドライバーが不足している輸送品・地域



- 特定の輸送品、地域を問わず、ドライバー不足となっている
- 特定の輸送品で、特定の地域等で、ドライバー不足となっている
- その他

ドライバーが不足している時期



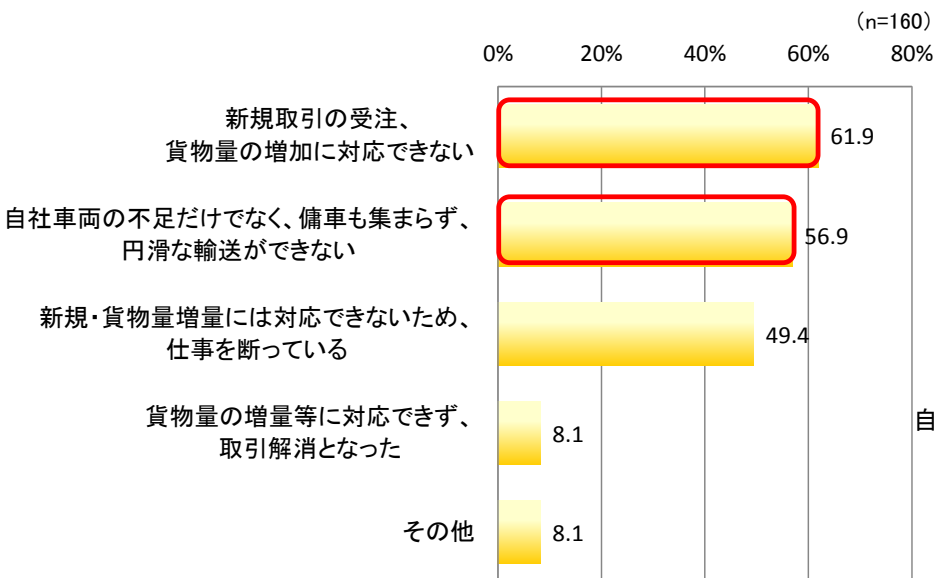
- 年間を通してドライバー・車両不足の状態、円滑に運送ができない状況
- 繁忙時期のみドライバー・車両不足の状態、円滑に運送ができない状況
- 年間を通してドライバー・車両は足りており、円滑に運送ができる状況
- その他

※6ページ「ドライバーが不足している」と回答した事業者に対する質問
 ※無回答を除外して集計している

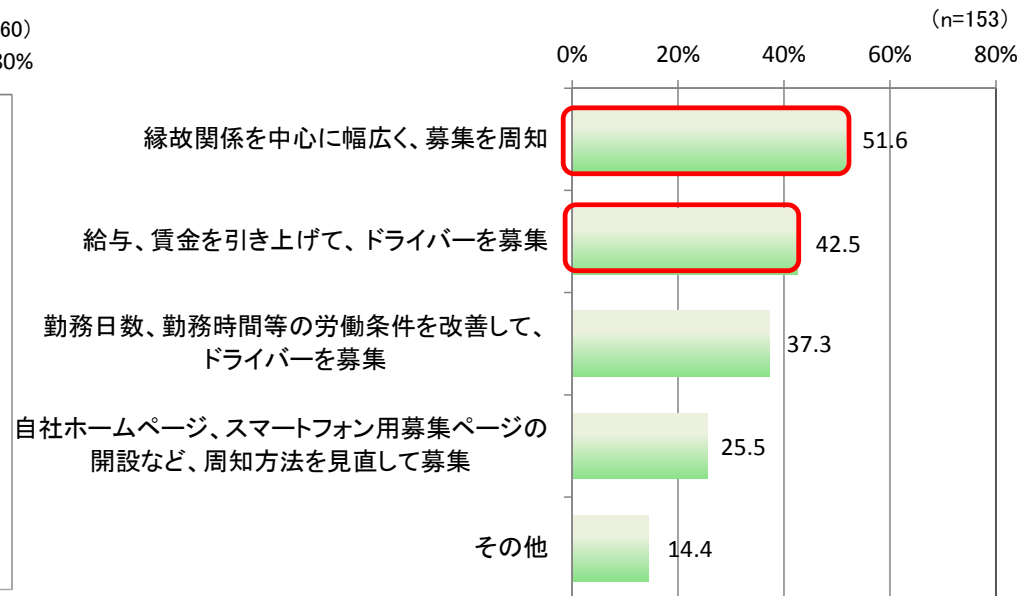
7. ドライバー不足による問題と採用にあたっての取組み

- ドライバー不足による問題としては、「新規取引の受注、貨物量の増加に対応できない」とした事業者が61.9%「自社車両の不足だけでなく、傭車も集まらず、円滑な輸送ができない」56.9%が上位である。
- ドライバー採用の取組みとしては、「縁故関係を中心に幅広く、募集を周知」とした事業者が51.6%と縁故を利用した採用が上位である。また、「給与、賃金を引き上げて、ドライバーを募集」とした事業者が42.5%となっており、ドライバー不足の解消として給与水準を上げて募集している事業者もいることが示されている。

ドライバー不足による問題



ドライバーの採用の取組み



※6ページ「ドライバーが不足している」と回答した事業者に対する質問
 ※無回答を除外して集計している

8. 運賃動向について

- 昨年同月と比較して「今年9月の運賃」と「今年10月の運賃」が上昇していると回答した事業者はともに約30%である。
- 前月と比較した運賃の動向について、今年9月・10月の実績として上昇していると回答した事業者が約15%、今年11月の見通しとして上昇すると回答した事業者も約15%と、概ね15%程度で推移しており、運賃動向に顕著な変化は見られない。

運賃の動向(前年同月比9・10月実績)

運賃の動向(前月比9・10月実績及び11月見通し)

